

令和5年度学校評価自己評価表（評価計画）

A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満

廿日市市立佐方小学校

評価計画							自己評価					学校運営協議会 委員評価コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための 具体的方策	評価項目・指標	目標値	昨年度 数値	分掌	中間 10月	達成度 (10月)	最終 2月	達成度 (2月)	評価		
【確かな学力・学び続ける力】 「主体的・対話的で深い学び」を通して、10年後、20年後の将来を見据えて児童に付けたい資質・能力を身に付ける。	◎協働的な学びを通して思考力・表現力を高め、学びを深める。 ・思考・表現する力を支える基礎的・基本的な学力の定着を図る。	・国語科を中心とした授業改善（校内研修の実施） ・ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり ・ICTの効果的な活用 ・朝学習の実施	<全国学力・学習状況調査児童質問紙> 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合【R5市共通項目】	85%以上	81.4%	教務							
			<国語科における思考・判断・表現> ・国語の標準学力調査（CRT）の「思考力・判断力・表現力の観点の問題による評価において、市平均を上回る学年の割合 ・児童アンケートで「自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができた」という項目で肯定的評価をした割合【中学校区共通項目】	100%	—								
			<ICTの効果的な活用> ・授業で思考したり、表現したりする場面で児童にICTを活用させていると答えた教職員の割合	90%以上	87%								
			<ICTの効果的な活用> ・授業で思考したり、表現したりする場面で児童にICTを活用させていると答えた教職員の割合	90%以上	—								
【豊かな心】 自分や仲間、学校・地域のことを思いやり、貢献することで自己有用感を高める。	◎元気が出るあいさつを励行し、異学年集団による活動やお互いに認め合い、支え合う集団づくりをする。	・あいさつの励行（あいさつ運動、率先垂範） ・縦割り班そうじの実施 ・「つながり支援プロジェクト」の日常化	<あいさつ> ・教職員・児童アンケートで「自分から進んで挨拶している」「挨拶をされたら、挨拶を返すことができる」という項目で肯定的評価をした割合	75%以上	T 76.7% P 61.0%	生徒指導							
			<清掃活動> ・「時間いっぱい丁寧に掃除をしている」と回答した児童の割合【中学校区共通項目】	90%以上	95.3%								
			<自己有用感・居場所感> ・「友達は、私のことを分かってくれている」で肯定的評価をした第3学年以上の児童の割合（アセス） ・「自分のクラスは、安心して過ごせて、自分らしくいられる場所になっている」で肯定的評価をした児童の割合	90%以上	87.2%								
【体力の向上・健康な体】 規則正しい生活習慣を身に付け、体力を向上させる。	・食育や体力づくりを推進し、基本的な生活習慣の定着を図る。	・生活リズムチェック週間の実施 ・教科等での児童への指導と保護者啓発 ・体力づくりの推進	<就寝時刻> ・学期ごとにアウトメディア、睡眠の調査を行い、生活リズムチェック週間の期間中、4日/5日、目標達成できた児童の割合	85%以上	73.6%	健康教育							
			<朝ごはん> ・毎日、朝食を食べて登校する児童の割合 ・食に関するアンケート結果や生活リズムチェック週間の5日/5日、目標達成できた児童の割合	90%以上	P 97.3% C 96.4% 94.1%								
			<外遊び> ・週2回以上、外遊びができた児童の割合、 「大休憩か昼休憩に外で遊んでいますか」という項目で肯定的評価をした児童の割合	70%以上	70.1%								
【風通しのよい職場づくり】 子どもと向き合う時間を確保して、教育の質の向上に努め、元氣な笑い声がいつもあふれる職員室を目指す。	◎子どもと向き合う時間を確保するため、組織として業務の効率化を図る。	・業務改善と見直しによる時間の確保 ・早めに退校する日の設定	<子どもと向き合う時間> ・以前に比べ、業務改善や業務の見直しが進んでいると感じている教職員の割合	90%以上	—	総務							
			<効率的な働き方> ・時間外勤務時間が月平均80時間未満の教職員の割合	100%	94.6%								